

令和5（2023）年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

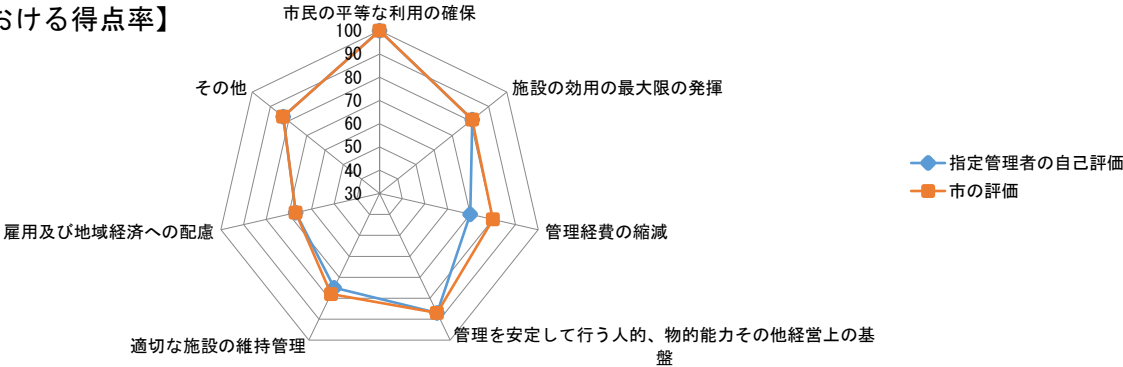
施設名称		21世紀記念公園		施設区分		施設管理型									
施設所在地		郡山市麓山一丁目64番 1		指定管理者		公益財団法人郡山市観光交流振興公社									
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日		施設所管部課		都市構想部公園緑地課									
評価項目		評価基準		配点（標準点）		指定管理者自己評価		自己評価コメント		市評価		市評価コメント		特記事項	
Ⅰ 市民の平等な利用の確保															
1		平等利用		市民の利用にあたり、公平であるか。（例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限 等）		2 (1)		2		事業において、抽選方式とし平等な利用を確保している。		2			
2		危機管理、事故・災害等への対策・対応		事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。（例：マニュアル整備、訓練等）		2 (1)		2		危機管理マニュアルを整備し訓練等の実施により、火災時等の対応ができる体制の確立に努めている。		2			
		小計		4		4				4					
Ⅱ 施設の効用の最大限の発揮															
3		管理運営方針		市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。		4 (3)		3				3			
4		事業実施状況		計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。		4 (3)		3				3			
5		広報・PRの実施		利用促進のための取組みを実施しているか。（例：事業の開催案内、ホームページの管理 等）		4 (3)		4		SNS等を利用した広報・PRが目標値を上回った。（目標60回、実績119回）		4			
6		接客態度		言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。		4 (3)		3				3			
7		苦情・要望の把握・対応		利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。（記録簿整備を含む。）特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告しているか。		4 (3)		4		HPや施設内アンケートを通じ、常に利用者の意見や苦情等を市への報告も含め迅速に対応している。		4			
8		市、関係機関、類似施設、地元等との連携		市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。（例：施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性 等）		4 (3)		3				3			
9		利用者アンケートへの対応状況		利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。		3 (2)		2				2			
		小計		27		22				22					
Ⅲ 管理経費の縮減															
10		帳簿管理・経理		帳簿等は適正に管理されているか。契約にあたり、適正な経費算定（積算）が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。		5 (3)		4		公社規程に則り適正に管理・執行しており、会計事務所による財務指導・確認を受けるなど、正確性を期している。		4			
11		収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況		収入確保の取組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。		5 (3)		3				4		同種の業務委託を統合して発注する等、支出を抑える取組みが見える。	
		小計		10		7				8					
Ⅳ 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤															
12		人員・研修体制		人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。		5 (3)		4		経験等を有する職員を配置するなど人員配置を行っている。		4			
13		収支状況		収支予算書どおりの収支状況となっているか。		5 (3)		4		利用料金は微増であったが、支出の削減に努め、収支バランスを堅持した。		4			
14		連絡調整		協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。		5 (3)		5		アンケートの苦情等への対応など、市への報告や事前協議などを適時適切に実施した。		5			
		小計		15		13				13					
Ⅴ 適切な施設の維持管理															
15		施設・設備の保守管理		法定点検が確実に行われているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。（修繕を含む。）		12 (5～7)		9		法定点検はもとより、日常点検を実施し修繕箇所等の早期発見・早期修繕に努めた。		9			
16		安全の確保		建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。		5 (3)		3				4		日常点検を1日に2度実施し、利用者の安全確保に努めた。	
17		清掃・衛生・美観維持		利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。		5 (3)		4		職員が巡回し、常に清掃や掲示物等のチェックを行い、利用者が快適に通ごうことができる空間づくりに努めている。		4			
18		備品の管理		備品が適切に管理されているか。		3 (2)		3		コロナ対策の消毒も含め、安全・安心に利用できるように適切に管理している。		3			
19		持ち込み物品等の管理		持ち込み物品等が適切に管理されているか。（例：持ち込み物品等管理簿、表示 等）		3 (2)		3		公社所有の台帳を整備し適正に管理している。		3			
20		法令等遵守		法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。		2 (1)		1				1			
21		個人情報保護		個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。		2 (1)		1				1			
		小計		32		24				25					
Ⅵ 雇用及び地域経済への配慮															
22		雇用・労働条件への配慮		労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。労働条件への配慮は十分か。		3 (2)		2				2			
23		地域経済への配慮		計画通りに市内からの職員採用を行っているか。再委託は計画通り適正に行われているか。市内事業者への再委託を行っているか。		3 (2)		2				2			
		小計		6		4				4					
Ⅶ その他															
24		活動指標		設定した指標の目標値（開館日数、情報発信回数）を達成しているか。		2 (1)		2		目標値を超えたSNS等での情報発信を行った。（目標60回、実績119回）		2			
25		成果指標		設定した指標の目標値（施設利用者数）を達成しているか。		2 (1)		1				1			
26		指定管理業務への姿勢		積極的な管理運営、市に協力的であるか。地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか。		2 (1)		2		苦情や要望等に対し市と連携し迅速に対応しているほか、近隣の事業者と連携し事業を行っている。		2			
		小計		6		5				5					
		合 計 点		100		79				81					

実 績						
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	合計
指定管理料（千円）	59,065	58,123	56,151	59,141	59,461	291,941
利用料金収入（千円）	2,142	836	895	1,085	1,485	6,443
利用者数（人）	12,317	4,839	5,591	6,332	17,745	46,824
二次評価 （市の評価）	B ⁺	B ⁺	B ⁺	B ⁺	A	
備 考	新規の自主事業を行い、収入を確保した。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、利用者及び利用料金収入が大きく減ってしまった。	新型コロナウイルス感染症のため、事業の中止や利用者の減少により収入が減少した。			

サービス向上対策

- ・近隣の事業者と連携し、小学校の夏休み期間に親子防災教室や11月から2月にかけてイルミネーションを実施した。
- ・公園内の見回りを1日2回実施し、公園の美化及び修繕箇所等の早期発見に努めた。

【各評価区分における得点率】



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
B ⁺	79	【総合評価（評価できる点等）】 ・職員が午前・午後の各1回園内を見回りし、園内の美化や修繕箇所等の早期発見に努めた。 ・近隣の事業者と連携し、親子を対象とした教室や公園周辺に賑わいを創出するためイルミネーションを実施した。 ・定員のある教室等の参加者を抽選により決定し、利用者の平等性を確保している。 【改善のための行動計画への対応状況】 ・HPやSNS等で貸館の空き状況やイベント等の情報発信をした。

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
A	81	【総合評価（評価できる点等）】 新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、くつろぎ施設の利用料金収入は伸び悩んだが、SNS等でのアウトプット活動が実を結び、利用者数は大幅に増加し、全体の利用料金収入も回復傾向とした。また、麓山公園と同種の委託発注を統合する等支出を抑制する取組みも見られ収支バランスは安定している。 【改善のための行動計画への対応状況】 積極的なアウトプットにより利用者数を大幅に向上させた。

【指定期間全体を振り返っての総括評価】

	プラス評価となる点	マイナス評価となる点
指定管理者による評価 （一次評価）	・新型コロナウイルス感染症の防止や福島県沖地震等への対応を主管課と連絡を密に取り利用者の安全・安心を確保した。 ・公園内の見回りによる、公園の美化や修繕箇所等の早期発見による修繕。 ・近隣事業者との連携による事業の創出。 ・定員のある事業について、抽選方式を導入しており利用者の平等性を確保している。 ・樹木の樹名板を一部QRコード付きに変更した。	・SNS等で貸館の空き状況を発信しているが、なかなか利用に結び付いていない。
市による評価 （二次評価）	・くつろぎ施設や交流施設、大型の花壇等利用者層が多岐に渡る公園であるが、貸館利用やイベントの予約等を抽選方式とし、利用者に分かりやすい公平な利用を実現させた。 ・近隣事業者と連携しイルミネーション事業を毎年実施し、地域のにぎわい創出に寄与した。	・近隣に市営の駐車場が整備され、より遠方からの利用者が期待できる状況であることから、イベントの見直しも含め集客性を高めて欲しい。 ・施設の夜間(17時～21時)の利用状況は、交流施設では25%前後であったが、くつろぎ施設は5%前後と低いので、更なる利用率の向上に努めてほしい。